

2009年5月26日
安心ネットづくり促進協議会

安心ネットづくり促進協議会 調査企画委員会 調査検証作業部会
『2つの調査研究方針を決定』

安心ネットづくり促進協議会 調査企画委員会傘下の調査検証作業部会(主査:お茶の水女子大学 教授 坂元 章)は、4月20日(月)に第2回作業部会、5月26日(火)に第3回作業部会を開催し、2つの調査研究方針を決定いたしました。

社会的に関心の高いテーマを調査する『ナレッジの共有、情報発信』については部会員を中心としたメンバーにて調査を実施。一方、『有害情報の影響調査』については、独立した研究グループに調査研究を委ね、調査結果の客観中立性を担保する事といたします。

今後も調査検証に関する情報については、適宜ホームページ上で公開して参ります。

■ナレッジの共有、情報発信について

青少年の利用実態やCGMサイト運営の光と影といった社会的に関心の高いテーマを調査いたします。調査テーマや結果については、順次ホームページ上で発表いたします。

■有害情報の影響調査について

携帯電話やPCなどでのインターネット利用が子どもに悪影響をもたらしているのか、また、悪影響をもたらす条件は何かについて、実証研究を行います。調査結果の客観中立性を担保する事が重要である為、独立した研究グループに調査手法の検討や実施を完全に委ねることといたします。

研究グループや調査研究テーマについては、順次ホームページ上で発表いたします。